

## アギトアリ関東地方で生息を確認

先崎 優・寺山 守・砂村栄力・久保田敏・高桑正敏

Occurrence of trap-jawed ant, *Odontomachus monticola*, in the Kanto District, Japan  
by Masaru Senzaki\*, Mamoru Terayama, Eiriki Sunamura, Satoshi Kubota & Masatoshi Takakuwa

アギトアリ *Odontomachus monticola* は、体長が10～13mm、クワガタのような大きく発達した大あごをそなえ、さらに長い触角と脚をもつ特徴的な大型のアリである(写真1)。本種は、中国から台湾、海南島、インドシナ半島、インド、スマトラ、ジャワ、ボルネオにかけての東アジア南部から東南アジアに広く分布する。日本では1990年代までは、屋久島、種子島、口永良部島および鹿児島県本土に局所的に生息することが知られており、東南アジアに広域分布するにもかかわらず、トカラ列島以南の琉球列島には生息しない。

このアリが、九州北部の福岡県北九州市門司区の和布刈公園に、2000年9月以降生息していることが報告されたが(寺山・北出, 2005)、今年になって、本州の西日本側から立て続けに2例の分布報告が発表された。つまり、岡山県赤磐市桜が丘東(伊藤・富田, 2012)と大阪府箕面市の箕面公園入口(砂村ほか, 2012)である。赤磐市では、2011年11月に多数の働きアリと脱翅女王が確認されたほか、2011年10月に灯火に飛来した有翅女王も採集されており、箕面市では2011年7月に巣が確認されていることから、両地域ともに本種が定着していると判断される。

今回さらに、神奈川県で本種の営巣が確認された。営巣確認場所は、横浜市金沢区にある金沢自然公園で、公園内の道路脇の林縁部とみなせる場所であった。

先崎・高桑が5月に予備調査を行い、予め特定した営巣場所を7月7日に、全メンバーにより巣構造について調べる広域の掘り取り調査を実施した。その結果、巣(働きアリや幼虫などが集合している広まった空間)は朽ち木の中や下、あるいは周辺の土中に見られ、幼虫や繭に入ったサナギを数多く認めた。本属のアリとしては異常に大きな集団となっており、少なくとも直線距離で10mの中に複数の巣が認められ、これらが1つのコロニー(家族集団)を形成していた。

\*) Senior author's address: Kanazawa Zoo, 5-15-1,  
Kamariya-higashi, Kanazawa-ku, Yokohama-shi, Kanagawa,  
236-0042, Japan.



写真1. アギトアリの働きアリ(左)および女王(右), 背面



写真2. 横浜市金沢区のアギトアリ。働きアリ(写真撮影: 久保田敏)



写真3. 大あごで幼虫をくわえて運ぶ働きアリ (写真撮影：久保田敏)



写真4. アギトアリの幼虫 (写真撮影：久保田敏)

関東地方からの本種の分布については、インターネットによる情報が先にあった(引用文献欄を参照)。先崎と砂村は、この情報をもとに7月4日(先崎)と7月8日(砂村)に東京都武蔵村山市三ツ木を訪れ、野山北・六道山公園においてアギトアリの巣を発見した。掘り取り調査は行っていないが、ここでも複数の巣から構成される大きなコロニーとなっているようであった。

北九州市の分布を含めて、これら5例の記録は互いにひどく飛び離れており、奇妙な分布と言わざるを得ない。砂村ら(2012)は、箕面市のアギトアリの由来について、3つの可能性を提出している。つまり、1) もともと本州にも低密度で生息しており、たまたまこれまで発見されなかった自然分布仮説、2) 巣や女王が物資の移動などに付帯して長距離移動がなされ、侵入した人為的移入仮説、そして3) 近年の地球温暖化による分布域拡大仮説、である。

今後、本州でのアギトアリ分布の謎を解くための遺伝子解析や、本州でハリアリ類としては異常に巨大なコロニーとなる本種の生態解明が重要になってくるであろう。国内において、急速に分布の拡大、あるいは個体群密度の増大が生じている可能性があり、本種の分布に留意が必要であろう。

#### ○引用文献

伊藤文紀・富田 勇, 2012. 香川生物 39: 71-72.

砂村栄力・奥田彩子・寺山 守, 2012. 月刊むし (494): 40-41.

寺山 守・北出 理, 2005. 蟻 (27): 9.

東京都武蔵村山市のアギトアリの写真: [http://www.freeml.com/ep.umzx/grid/Photo/node/PhotoEntryFront/user\\_id/6231676/file\\_id/124935](http://www.freeml.com/ep.umzx/grid/Photo/node/PhotoEntryFront/user_id/6231676/file_id/124935)

(先崎：〒236-0042 横浜市金沢区釜利谷東5-15-1, 横浜市立金沢動物園)

(寺山：〒113-8652 文京区弥生1-1-1, 東京大学農学部応用昆虫学研究室)

(砂村：〒666-8555 宝塚市高司4-2-1, 住友化学健康・農学関連事業研究所)

(久保田：〒113-0021 文京区本駒込2-29-29, 小石川中等教育学校)

(高桑：〒250-0031 小田原市入生田499, 神奈川県立生命の星・地球博物館)